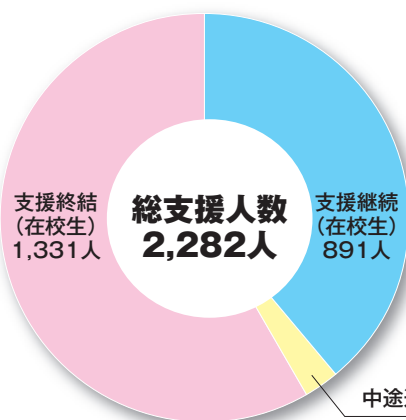


平成28年度の自立支援チームの取組

■支援をした生徒のうち58%が支援終結



継続とは

YSWが現在も継続的に支援を続けているケース
中途退学後も本人・保護者からの依頼により高校再入学や就労に向けた支援を行っているケース

終結とは

不登校状態の解消、中途退学の未然防止、進路決定等の一定の成果に結びついたケース

■終結したケースの例

| | ケース①不登校支援 | ケース②中途退学防止 | ケース③就労支援 |
|----|--|--|---|
| 相談 | 保護者からの虐待により、登校が困難になった。欠席が増えたことにより進級が危惧された。 | 進級見込みが立たないため、中途退学を考えている生徒から、今後の進路を考えるために相談があった。 | 就職活動が思うように進まないことで、不登校状態になってしまった。 |
| 経過 | <ul style="list-style-type: none"> 本人との面談を行い、状況を把握 ケース会議を実施し情報を共有 児童養護施設への入所を支援 | <ul style="list-style-type: none"> 退学前から支援を継続 高校への再入学のため、学び直し支援事業と連携 | <ul style="list-style-type: none"> NPOによる若者就労支援プログラムの受講を提案 プログラム受講後進路について再検討を実施 |
| 成果 | 生活が安定し、登校を再開することができた。 | 他の定時制都立高校に再入学をすることができた。 | 職能開発センターに入校することができた。 孤立防止のためのネットワークを形成することができた。 |

■自立支援チームを活用した学校の声

校長

支援に関する体制づくりが進んだことで、多様な課題に対しても、組織的の支援ができるようになった。

自立支援担当

専門的知識を持ったYSWが学校に入ったことで、多面的な支援が展開でき、課題を抱えた生徒に対応できている。

学級担任

YSWの協力を得ることで、今まで一人で抱えていた問題にチームで対応し、解決できた。

養護教諭

YSWと一緒に問題に対応してくれたおかげで、他の教員との情報共有もスムーズになった。

スクールカウンセラー

医療機関などの他機関との連携がスムーズになったことで、支援の幅が広がった。